

新型コロナウイルス感染拡大防止のための本大会ガイドライン

- ①役員、選手とも健康管理に留意し、体調不良等がある場合は、ただちに申し出ること。大会への参加は万全な状態で参加し、体調が優れない場合は出場を見合わせる。
- ②大会当日は、役員、選手ともに必ず検温を実施し、生徒は「JAAF体調管理シート」を顧問の先生に提出し、学校単位で総務に提出する。「検温」が実施できない場合は、大会には出場できない。選手は種目出場以外は「マスク」を着用し感染拡大につとめる。ただし、高温下での「マスク」着用は熱中症のリスクを高めるので、他人とのソーシャルディスタンスが十分保てる距離であるならば「マスク」ははずしてもよい。
- ③新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、役員、選手ともに「手洗い」「消毒」を心がける。生徒の自校選手への応援は自粛し、拍手等のみとする。また、当日朝の検温が実施できていない場合は入場を認めない。
- ④選手と保護者との接触、また保護者の選手待機場所への来場及び生徒との接触はいかなるうえでも認めない。保護者の応援も一切認めない。
- ⑤トラック競技出場者で、スターティングブロックを使用する種目（100m・200m・400m・110mH・100mH・4×100mR）については、招集所で腰ナンバーを受け取ったのち、招集所に常備しているハンド式の消毒液で手・指の消毒を行うか、水道で手洗いを必ず行ってからスターティングブロックを使用すること。なお、手洗いに行ってスタート前の「点呼」が遅れた場合は、「棄権」とみなすので時間に余裕を持って手洗い等を行うこと。
- ⑥フィールド競技の「砲丸投」「円盤投」「やり投」出場者は投てき審判の指示に従い、投てき物を手にする前に必ず手・指の消毒を行ってから競技に臨むこと。
- ⑦選手の待機場所は、大会事務局より指定された場所とし、いわゆる3密には十分注意し、十分なソーシャルディスタンスを確保し、待機すること。
- ⑧役員、選手、保護者は競技会終了後、2週間以内に発熱等の症状が出た場合は、ただちに当該校管理職に連絡すると共に、最寄りの保健所、病院等に相談後、必ず大会主催者（総務）に報告する。
- ⑨競技運営目的以外に感染症予防対策目的として個人情報を取得し、またそれらを保健所や医療機関等の第三者へ情報を提供することもある。

※新型コロナウイルスの感染防止には万全の対策を施すが、万が一大会で感染したとしても、大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に責任を負うことはできない。